

No. 542
2016年
9月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第6回「近藤賞」候補者募集

「近藤賞」は、2007年に日本OR学会創立50周年事業の一環として創設されたものであり、ORの研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、わが国のORの発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的としています。

このたび、下記の要領で第6回「近藤賞」受賞候補者を募集いたしますので、ご推薦くださいますようお願いいたします。

推薦方法：日本OR学会個人正会員および名誉会員による推薦

提出書類：推薦理由書、被推薦者の略歴および主要業績一覧表（書式自由）

推薦対象者：ORの研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人（グループも可）

推薦締切：2016年9月30日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

*受賞者は近藤賞選考委員会において決定し、2017年春のOR学会研究発表会で表彰を行い、受賞記念講演をしていただく予定です。

*「近藤賞」は2年に1回程度の頻度で募集を行う予定です。

*詳しくは学会WEB

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award10.html>

<http://www.orsj.or.jp/~oldweb/Members/kondou.pdf>
をご覧ください。

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2016年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2017年1月31日
3. 学生論文賞：2017年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>からダウンロードしてご利用ください。過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

【研究賞】

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞50万円／1名）

【研究賞奨励賞】

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞20万円／1名）

【事例研究賞】

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

【業績賞】

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満60歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞10万円／1名）

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞30万円／1件）

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

● 2016年秋季シンポジウム（第76回）

日 程：2016年9月14日（水）

場 所：山形大学（小白川キャンパス）人文学部1号館1階103教室（B会場）

www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/campus-info/kojirakawa/

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016f/symposium.html>

テーマ：再生・復興に向けたORの新たな役割

実行委員長：中山 明（福島大学）

後 援：山形大学

プログラム（講師および、講演タイトル）

セッション1

- ・第1講演（13:05～13:45）

東原紘道氏（東京大学地震研究所・名誉教授）

「東北復興へのORの貢献の可能性と、取り巻く諸問題」

- ・第2講演（13:50～14:30）

脇坂隆一氏（国土交通省東北地方整備局東北国営公

園事務所・所長）

「東日本大震災の復興まちづくりのこれまでとこれから」

セッション2

- ・第3講演（14:50～15:30）

川崎興太氏（福島大学共生システム理工学類・准教授）

「福島除染・復興政策の転換期における除染・復興に関する課題－原発避難者の消滅と原発避難問題の終焉を前にして－」

- ・第4講演（15:35～16:15）

村松 真氏（山形大学東北創生研究所・准教授）

「農山村集落の消滅メカニズムと再生可能性」

- ・第5講演（16:20～17:00）

江本一男氏（特定非営利活動法人えき・まちネットこまつ・理事長）

「高校生と住民が協働する持続可能なまちづくりへの挑戦」

事前振込参加費（9/5（月）締切）：

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：9/5（月）締切

2016年度年会費納入済み個人正会員は、2016年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、OR学会事務局にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会（正会員と参加費同額）：

日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会

(JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsrpim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先: OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2016年秋季研究発表会

日 程: 2016年9月15日(木), 16日(金)

場 所: 山形大学 (小白川キャンパス)

山形県山形市

研究発表会HP: <http://www.orsj.or.jp/~nc2016f/index.html>

テーマ: 再生・復興とOR

実行委員長: 古藤 浩 (東北芸術工科大学)

後 援: 山形大学

特別講演 (講師および, 講演タイトル)

- ・ 小山清人氏 (山形大学長)
「研究室の運営を通じた人材育成」
- ・ 武田朗子氏 (統計数理研究所, OR学会研究賞受賞)
「数理最適化と機械学習の相互作用」

事前振込参加費 (9/5 (月) 締切):

正・賛助会員: 6,000円

学生会員: 1,000円

非会員: 8,000円

* 非会員の学生の事前振込みはありません。

* OR誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

* 欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料: 非会員 (非会員学生を含む)の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴いたします。(事前振込, 当日お支払い同額です。)

当日受付参加費:

正・賛助会員: 7,000円

学生会員: 2,000円

非会員学生: 2,000円

非会員: 10,000円

* 学生の方は, 受付で学生証の提示をお願いします。

懇親会:

場所: 山形大学小白川キャンパス「小白川食堂テール・ボム」

日時: 2016年9月15日(木) 17:40~19:30

参加費: 事前振込み5,000円 9/5(月) 締切 (懇親会は, 原則, 事前振込になります。)

賛助会員の方へ:

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。)ご参加者様については, 社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示:

(株)NTTデータ数理システム

(株)オクターバー・スカイ

(株)構造計画研究所

(株)近代科学社

サイバネットシステム(株)

協賛学会 (正会員と参加費同額):

日本経営工学会 (JIMA)

日本品質管理学会 (JSQC)

日本信頼性学会 (REAJ)

研究・イノベーション学会 (Jsrpim)

日本設備管理学会 (SOPE-J)

経営情報学会 (JASMIN)

プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先: OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2017年春季研究発表会 (創立60周年記念大会)

日 程: 2017年3月15日(水)~17日(金)

場 所: 沖縄県市町村自治会館 (沖縄県那覇市旭町116-37)

実行委員長: 山下英明 (首都大学東京)

● 中部支部シンポジウム

「情報化時代の信頼性・安全性技術」

中部支部URL: <http://www.orsj.or.jp/chubu/?p=2593>

日 時: 2016年9月17日(土) 13:30~17:00

場 所: ウィンクあいち15階 (愛知県立大学サテライトキャンパス)

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

プログラム:

13:30~13:35

開会挨拶: OR学会中部支部研究幹事 今泉充啓

(愛知学泉大学)

13:35~14:35

「オープンソースソフトウェアに対する信頼性評価の適用例と最近の動向」

講師：田村慶信（山口大学大学院）

14:45~15:45

「情報通信セキュリティとOR」

講師：後藤邦夫（南山大学）

15:55~16:55

「非定常累積超幾何試行過程とその応用～信頼性に関連したある物語～」

講師：土肥 正（広島大学大学院工学研究院）

16:55~17:00

閉会挨拶：OR学会中部支部支部長 奥田隆史（愛知県立大学）

参加費：1,000円（ただし、学生は無料）

懇親会：シンポジウム終了後、会場周辺にて懇親会を計画しています（予定会費5,000円）。

懇親会に参加される方は、会場予約の都合上、下記の事前申し込みを必ずご利用ください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

申込方法：中部支部のWebページからお申し込みください。2016年9月2日（金）締切。

シンポジウムは当日参加も可能ですが、準備の都合上、できるだけ事前申し込みにご協力ください。懇親会に参加される方は、席の確保のため、事前申し込みを必ずお願いします。

問合せ先：OR学会中部支部研究幹事 今泉充啓
(imaizumi@gakusen.ac.jp)

● 研究部会・グループ開催案内

〔離散アルゴリズムの応用と理論〕

部会 URL：<http://research.nii.ac.jp/~sumita/or/>

・第3回

日時：2016年10月7日（金）13:30~17:00

場所：京都大学数理解析研究所4階420号室

<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/ja/access-01.html>

テーマと講師：

(1) 田島 玲（Yahoo! JAPAN研究所）

・第1部「ヤフーにおけるデータ利活用（1）—サービスへの貢献」

Web業界では、サービスの提供とともに日々大量のデータが産みだされており、それを最先端の技術と組み合わせてサービスに活かすことが価値向上

の原動力となっています。本講演では、ヤフーがこの領域にどのような体制で取り組み、実際のサービスでどう価値につなげているかを紹介します。

・第2部「ヤフーにおけるデータ利活用（2）—先進事例」

デバイス、ユーザの利用シーン、それに伴い蓄積されるデータが多様化していくなか、そこからの価値創出には様々な技術やアイデアが求められています。本講演では、Yahoo! JAPAN研究所での取り組みを中心に、今後のサービスを見据えた事例を、技術解説を交えて紹介します。

(2) 柳浦睦憲（名古屋大学）

「メタ戦略の今」

様々な現実問題が組合せ最適化問題として定式化できるが、NP困難問題に代表されるように、入力データが大きくなると現実的な時間で厳密な最適解を得ることが困難であるものがほとんどである。このような問題に対して現実的な時間で精度の高い解を得る実用的な解法として、メタ戦略は広く認知されるようになった。本講演では、メタ戦略の基本的な考え方を概説したのち、最近の進展について紹介する。

問合せ先：幹事 澄田範奈（国立情報学研究所）

E-mail: sumita@nii.ac.jp

● 新宿OR研究会

〔第361回〕

日時：2016年9月20日（火）12:00~14:00

講師：小松秀徳氏（電力中央研究所システム技術研究所主任研究員）

テーマ：「スマートメーターデータ分析に基づく省エネルギー情報提供」

場所：OR学会事務局会議室（東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F）

*詳細は学会HPをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にてお申し込みください。）

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 他学協会協賛案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の

会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

● **日本経営工学会 2016年度秋季大会**

日 程：2016年10月28日（金）～29日（土）

場 所：日本教育会館（<http://www.jec.or.jp/>）

主 催：日本経営工学会

参加費：日本経営工学会会員価格に準ずる

WEB：<http://www.jiminet.jp/activities>

● **公募案内**

（詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。）

● **東海大学 情報通信学部経営システム工学科**

採用職種・人員：特任准教授または特任講師 1名
常勤（任期あり）*着任後の研究・教育実績によって将来的に専任教員への任用変更あり

所属：情報通信学部経営システム工学科（勤務地：高輪校舎）

着任時期：2017年4月1日

専門分野：システム工学、オペレーションズリサーチ、情報システム工学

担当授業科目：システム工学、オペレーションズリサーチ、データベース、プログラミング、コンピュータリテラシー、卒業研究等

応募資格：(1) 博士の学位（日本における博士の学位と同等と認められる外国の学位を含む）を現に有するか、着任までに確実に取得できること、(2) 研究業績について、直近の5年間に於ける査読付き学術論文が3件以上あること、または同等の業績を有すること、(3) 本学の建学の精神を尊重し、熱意を持って教育にあたることができること

必要提出書類：(1) 履歴書（写真貼付）…氏名、生年月日、学位称号、本務勤務先および職名、現住所、学歴、職歴、学会および社会における賞罰、資格等を記載、(2) 研究業績リスト…著書、論文、学術集会発表、学協会・教育・啓発活動等を記載（論文と学術集会発表については査読の有無を明記）、(3) 主要な論文3編の別刷またはコピー、(4) これまでの研究概要と今後の研究計画（A4用紙2～3枚程度）、(5) 教育経験と着任後の教育への抱負（A4用紙2～3枚程度）

応募締切：2016年10月8日（土）必着

書類提出先：〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23

東海大学情報通信学部経営システム工学科主任
（封筒に「教員応募書類」と朱書のうえ簡易書留で郵送のこと）

選考結果の通知：応募者本人に通知します。

問合せ先：書類提出先（TEL: 03-3441-1171）

その他：選考過程で面接や模擬授業を行うことがあります。

● **新入会員（2016年7月理事会承認分）**

—賛助会員A種—

オリックス株式会社

—正会員—

新井 史彦	武蔵高等学校中学校
黒木 勇	サイバネットシステム(株)
千代 竜佑	(株)構造計画研究所
佐久間 建次	(株)デンソー（中部支部）
山本 高至	京都大学（関西支部）
フィゲラ ロウレンソ ブルノ	成蹊大学
吉田 尚史	公益財団法人鉄道総合技術研究所
影山 正幸	名古屋市立大学（中部支部）

—学生会員—

高橋 直希	明治大学
嶋口 未来	京都大学（関西支部）
達川 愛美	東京理科大学
王 緒	東京理科大学
南川 智都	東京工業大学
陳 康	筑波大学
小林 秋子	京都大学（関西支部）
飯塚 拓矢	京都大学（関西支部）
有江 禎晶	東京海洋大学
高橋 友貴	東京海洋大学
野口 敏樹	東京海洋大学
石井 和行	情報セキュリティ大学院大学
田澤 浩二	東京工業大学
引間 友也	京都大学（関西支部）
菅野 雄太	東京理科大学
石川 真也	群馬大学
松岡 達也	東京大学
李 涵碩	中央大学
吉住 宗朔	東京工業大学
昆野 修平	東京工業大学

* 支部表記のない方は本部所属です。

第28回RAMPシンポジウム

日程：2016年10月13日（木）、14日（金）

会場：新潟大学五十嵐キャンパス中央図書館ライブラリーホール

実行委員長：田中 環（新潟大学）

プログラム委員長：山田修司（新潟大学）

後援：新潟大学

参加申込：受付は8月22日より開始、下記のRAMP2016ホームページから。

シンポジウム参加費	正・賛助会員	学生	非会員
事前振込（9月30日まで）	¥5,000	¥2,000	¥8,000
当日払い	¥7,000	¥3,000	¥10,000
懇親会参加費	一般	学生	
事前振込・当日払いとも	¥5,000	¥2,000	

プログラム

10月13日（木）

10:00～13:00 「連続最適化とその周辺」

オーガナイザー：田中 環（新潟大学）

- Gue Myung Lee（李 圭明）（国立釜慶大学校，韓国），「Optimality theorems for convex optimization problems」
- Do Sang Kim（金 道彦）（国立釜慶大学校，韓国），「Nonsmooth semi-infinite multiobjective optimization problems」
- Jein-Shan Chen（陳 界山）（国立台湾師範大学，台湾），「From symmetric cone optimization to non-symmetric cone optimization: Projections onto nonsymmetric cones」
- Ruey-Lin Sheu（許 瑞麟）（国立成功大学，台湾），「Recent developments and applications of nonconvex quadratic programming」

14:30～17:30 「数値解析と最適化」

オーガナイザー：大石進一（早稲田大学）、劉 雪峰（新潟大学）

- 小林健太（一橋大学），「四面体上のLagrange補間の誤差評価について」
- 木村拓馬（佐賀大学），「最適化問題に関連する精度保証付き数値計算法について」
- 関根晃太（早稲田大学），「有界な凸領域における連立楕円型偏微分方程式の解に対する計算機援用存在証明法」
- 劉 雪峰（新潟大学），「ネットワークフローのモデルで論文査読者割当の問題を考える」

18:30～ 懇親会 アートホテル新潟駅前（新潟県新潟市中央区笹口1-1 TEL: 025-240-2111）

（現在名：ホテルラングウッド新潟，10月～名称変更）

10月14日（金）

9:30～12:00 「離散最適化とその拡がり」

オーガナイザー：高澤兼二郎（法政大学）

- 河村彰星（東京大学），「実数計算の理論と実践 — 連続世界の計算限界」
- 宮田洋行（群馬大学），「有向マトロイドのトポロジー的表現定理およびその低次元化について」
- 岩間一雄（京都大学），「ページランクゲームのナッシュ均衡」

13:30～16:00 「画像・信号処理」

オーガナイザー：梅谷俊治（大阪大学）、白井啓一郎（信州大学）

- 白井啓一郎（信州大学）、馬場達也（北九州大学），「画像の局所領域がもつ特徴を利用した画像復元法と最適化問題として扱う際の課題」
- 田中雄一（東京農工大学），「大規模時空間データのスパース表現に向けて：グラフ信号処理の基礎と応用」
- 宮田高道（千葉工業大学），「画像信号のモデル化と最適化による復元について」

RAMP2016ホームページ：<http://mathweb.sc.niigata-u.ac.jp/~ramp2016/>

数理計画（RAMP）研究部会ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

4部会合同研究会 ～確率モデルの新展開～

日 時：2016年10月15日（土） 研究会：12:00～19:00（情報交換会：17:15～19:00）

会 場：常翔学園大阪センター 大阪市北区梅田3-4-5毎日インテシオ3F

（研究会場：301+302セミナー室）<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>（情報交換会場：ラウンジ翔）<http://www.joshowelfare.co.jp/cafe/cafe-syou.html>

JRでお越しの場合：大阪駅から徒歩約10分（建物まで地下道を歩けます）、北新地駅から徒歩約9分（建物まで地下道を歩けます）、福島駅から徒歩約5分、新福島駅から徒歩約7分

実行委員長：笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学）

実行委員：穴太克則（芝浦工業大学）、土肥 正（広島大学）、塩田茂雄（千葉大学）、堀口正之（神奈川大学）
田村信幸（法政大学）、佐久間 大（防衛大学校）、中西真悟（大阪工業大学）

主 催：4研究部会「確率モデルとその応用」、「信頼性」、「待ち行列」、「不確実性環境下の意思決定モデリング」

協 賛：日本OR学会関西支部

プログラム（講演題目と概要を含む、敬称略）

12:00～12:05 開会挨拶 笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学）

12:05～13:45 セッション1（座長：穴太克則（芝浦工業大学））

講演者1：吉良知文（九州大学）

講演題目：動的セキュリティゲーム

講演概要：都市や施設における望ましい警備計画のありかたを、警備員と侵入者による非協力ゲームと捉えて、議論する試みが近年活発である。特に、宝崎氏の動的セキュリティゲームは、巡回する警備員、物陰に隠れる巧妙な侵入者を考慮した本格的なモデルである。本発表では、侵入者の学習能力（巧妙さ）の違いに応じて3つのクラスに分類し上で、我々の成果の一部を報告する。本研究は、神山直之氏（九州大学、JSTさきがけ）、岩下洋哲氏、大堀耕太郎氏、穴井宏和氏（富士通研究所）との共同研究である。

講演者2：早川 有（早稲田大学）

講演題目：Delayed reporting of faults in warranty claims

共同研究者：Richard Arnold, Stefanka Chukova and Yu Hayakawa

講演概要：When a complex system is operated, it may experience multiple faults. If the system is operating under warranty these faults may be claimed for and repaired at zero or minimal cost to the consumer. However if the faults do not lead to system failure the user may find it inconvenient to claim for each repair as it occurs, and may instead delay making a report or claim until a sufficiently large number of faults has accumulated.

In this talk, we will present a model for the delayed reporting of faults: multiple non-fatal faults are accumulated and then simultaneously reported and repaired. The reporting process is modelled as a stochastic process dependent on the underlying stochastic process generating the faults. The joint distribution of the reporting times and numbers of reported faults is derived.

13:45～14:00 休憩

14:00～15:40 セッション2（座長：塩田茂雄（千葉大学））

講演者3：恐神貴行（IBM東京基礎研究所）

講演題目：動的ボルツマンマシン

講演概要：ボルツマンマシン等の従来の人工ニューラルネットワークはヘブ則に基づいて学習するが、近年の

生物実験においてはヘブ則をより精緻にするスパイク時間依存可塑性 (STDP) が神経細胞の学習則として確認されている。ところが、STDPの人工ニューラルネットワークへの工学的な応用はあまり進んでいない。本講演では、STDPに対する理論的な基礎付けを与えるために、各時点に対応する層をもつボルツマンマシンを考え、層数無限の極限として動的ボルツマンマシンを導出する。特に、所与の時系列データの尤度最大化という目的関数から導出される動的ボルツマンマシンの学習則が、STDPの特徴を有することを示す。本発表はJST, CRESTプロジェクトの成果に基づく。

講演者4: 三道弘明 (関西学院大学)

講演題目: 小売業における新聞売り子問題 – 時空間ホテリングモデル –

講演概要: 小売業においては、消費者の行動が商品の有無に依存しており、それが需要量を決定する。また、小売は需要分布に応じて仕入れ量を決定する。ここでは、消費者と小売店舗の相互に依存した意思決定問題をゲームとして捉え、その均衡解の存在を示す。これにより、閉店間際の在庫存在確率が重要な意味を持つことを明らかにする。

15:40~15:55 **休憩**

15:55~16:55 **招待講演** (座長: 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学))

招待講演者: 木村俊一 (関西大学)

講演題目: Raise the Laplacian curtain, and let the sunshine in!

講演概要: ラプラス変換は、微分/積分方程式によって記述される問題を解くための古典的ツールとしてよく知られている。本講演では、数値的ラプラス逆変換に焦点を当て、待ち行列理論、信頼性工学、数理ファイナンス等の確率モデルにおけるラプラス変換の有用性とその限界について検証する。

16:55~17:00 **閉会挨拶** (土肥正 (広島大学))

17:15~19:00 **情報交換会**

懇親会: 19:30から開催

会場: 四季自然喰処たちばなヒルトンプラザイースト店

住所: 大阪府大阪市北区梅田1-8-16ヒルトンプラザB2

URL: <http://r.gnavi.co.jp/k082325/>

出席申込: 会場手配の都合上: **出席申込締切日: 2016年9月20日までに**

大阪工業大学: 中西真悟 (nakanisi@dim.oit.ac.jp) にご連絡ください。

4部会合同研究会参加申込書

- ・お名前: 様
- ・ご所属:
- ・メールアドレス:
- ・研究会: 出・欠 (どちらか削除ください)
- ・研究会&情報交換会 (4,000円): 出・欠 (どちらか削除ください)
- ・懇親会 (3,000円): 出・欠 (どちらか削除ください)
- ・活動されている研究部会名 (自由記入):
- ・その他 (自由記入):

問合せ先: 大阪工業大学: 中西真悟 (nakanisi@dim.oit.ac.jp)

URL: <http://www.oit.ac.jp/or/> (不確実性環境下の意思決定モデリング研究部会HP)

2016年度第2回 ORセミナー 『Excel SolverではじめるOR』

開催趣旨:「限られた人や予算をうまく配分したい」「リスクを最小にするような投資配分を見つけないか」あるいは「多角的な視点から店舗や社員の効率性評価を行いたい」。そのような問題はオペレーションズ・リサーチ (OR) の代表的なツールであり、ビジネスにおけるキーテクノロジーの一つである「最適化」によってアプローチすることが可能です。Solverはある種の最適化を実現するソフトウェアです。高度化が進むSolverの中にあつて、Excel Solverは最も身近なものであり、エントリーモデルとして相応しいものといえます。本セミナーではオペレーションズ・リサーチ (OR) の古典的な問題を教材に、Excel Solverでどんなことができるのかを学びます。なお、セミナーは講義形式と演習形式を織り交ぜて行い、参加者は予めExcel (2010以降可) をインストールしたラップトップパソコンを持参することを前提とします。

日 時: 2016年10月15日 (土) 10:00~17:35
会 場: (株)構造計画研究所本所新館 (地下1階レクチャールーム)
 〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
 東京メトロ丸ノ内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)構造計画研究所 齊藤 努 (OR学会研究普及委員)
司 会: 中央大学 後藤順哉
定 員: 60名 (定員になり次第締め切らせていただきます)。

プログラム: (敬称略)

- 10:00~10:05 **開会挨拶**
- 10:05~10:30 **セッション1 「数理最適化とSolver」** 講師: 中央大学 後藤順哉
数理最適化とは何なのか、それにおけるExcel Solverの位置づけについて学びます。
- 10:30~12:00 **セッション2 「Excel Solver入門」** 講師: 文教大学 堀田敬介
割当問題などの簡単な最適化問題について、数理モデルをExcel上で表現し解く方法を身につけます。
- 13:10~14:00 **セッション3 「ゲーム理論」** 講師: 文教大学 堀田敬介
2人非協力零和ゲームと線形計画の関係について学び、Excel Solverで均衡解を求めます。
- 14:00~14:40 **セッション4 「0-1 整数計画」** 講師: 文教大学 堀田敬介
集合分割問題等の数理最適化モデルをExcel上で表現する方法を学び、Excel Solverで求解します。
- 14:50~15:35 **セッション5 「ポートフォリオ選択」** 講師: 中央大学 後藤順哉
資産運用の基本である平均・分散モデルについて学び、Excel Solverで効率的フロンティアを求めます。
- 15:35~16:20 **セッション6 「VBAを使って便利にする」** 講師: 中央大学 後藤順哉
アプリケーション用プログラミング言語VBAと組み合わせてExcel Solverを使う方法について学びます。
- 16:30~17:30 **セッション7 「データ包絡分析法 (DEA)」** 講師: 中央大学 後藤順哉
DEAの基本的な考え方について学び、Excel Solverを用いて実現する方法について学びます。
- 17:30~17:35 **閉会挨拶**
- 17:35~ **「個別相談・質問コーナー」** 講師: 中央大学 後藤順哉, 文教大学 堀田敬介

参加費 (テキスト代込み): 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

ORセミナー参加者特典: 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

申込方法: メールタイトル「第2回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込締切: 2016年10月7日 (金)

振込先: みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会 (正会員と参加費同額): 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (JSRPIM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

2016年度第3回 ORセミナー 『Python言語によるビジネスアナリティクス』

開催趣旨: 高級スクリプト言語“Python”を用いて、実務家のための最適化・統計分析・機械学習などのオペレーションズ・リサーチの分野で必要なツールをご紹介します。このセミナーは、これからPythonを始める方や、これまで別のソフトウェアで最適化やデータ分析をしていた方にとって、Pythonの世界に踏み出すための最適なイントロダクションとなるでしょう。Pythonのユーザーフレンドリーさと自由度の高さを体験しましょう。

PCを持参することで、実行しながら確認できます。予め、Anacondaをインストールしておいてください。インストーラーのダウンロード：<https://www.continuum.io/downloads>

日 時: 2016年11月12日(土) 10:00~17:00

会 場: (株)構造計画研究所本所新館(地下1階レクチャールーム)
〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065
東京メトロ丸の内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

コーディネーター: (株)構造計画研究所(以下KKE) 齊藤 努 (OR学会研究普及委員)

司 会: 東京海洋大学 久保幹雄

定 員: 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

- 10:00~10:10 セッション0「環境整備 DockerとAnaconda」講師:KKE 齊藤 努
- 10:10~10:30 セッション1「対話型シェルIPythonとJupyter」講師:東邦大学 並木 誠
インタラクティブに実行でき、記録・共有・再現に効果を発揮するIPythonの紹介。
- 10:30~11:20 セッション2「データ解析」講師:KKE 齊藤 努
pandasによるデータ分析や可視化を紹介。
- 11:30~12:00 セッション3「統計~線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰」講師:KKE 齊藤 努
3つの仮想事例で、線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰を紹介。
- 13:00~13:40 セッション4「機械学習」講師:東邦大学 並木 誠
機械学習の代表的なPythonモジュール:scikit-learnの主な分析手法を紹介。
- 13:50~14:30 セッション5「最適化~概要」講師:東京海洋大学 久保幹雄
最適化問題を分類し、幾つかの代表的な最適化問題に整理するとともに、各最適化問題を解くためのソルバーとモデラーを紹介。
- 14:40~15:10 セッション6「最適化~実践」講師:東京海洋大学 久保幹雄
数値最適化ソルバー Gurobi, PuLP, 非線形最適化ソルバー OpenOptを統一的使用するためのモジュール, ならびに制約最適化とスケジューリング最適化のためのモジュール(SCOP, OptSeq)を紹介。
- 15:40~16:30 セッション7「ネットワークと動的最適化」講師:東京理科大学 小林和博
グラフ・ネットワーク関連解析のためのモジュールであるNetworkXと動的計画の設計法を紹介。
- 16:30~16:50 セッション8「Excel連携」講師:東京海洋大学 橋本英樹
ExcelとPythonの連携を行うためのモジュールxlwingsを紹介。
- 16:50~17:00 閉会挨拶 東京海洋大学 久保幹雄

参加費(テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円

ORセミナー参加者特典: 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

申込方法: メールタイトル「第3回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込締切: 2016年11月4日(金)

振込先: みずほ銀行根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額): 日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(JSRPIM), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

2016年度 第4回 ORセミナー

『統計分析の基本—データを用いて意思決定する方法を学ぼう』

開催趣旨: ビッグデータの流行とともに、分析用のソフトウェアやクラウドサービスなどが普及しています。統計の知識がなくてもこれらを使えば、何らかの結果を得ることはできますが、内部ではどのような分析が行われているのでしょうか？ 正しい結果を得るためには、基本的な分析の知識が必要です。今回のORセミナーでは実際の例を交え、さまざまな統計分析の手法を基本から紹介します。

日 時: 2016年12月10日(土) 10:00~17:10

会 場: 大阪大学 大学院情報科学研究科 講義室

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-5

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/access/suita-campus.html>

主 催: OR学会関西支部とOR学会本部

コーディネーター: OR学会関西支部副支部長 大阪大学 森田浩

定 員: 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム: (敬称略)

10:00~10:05 開会挨拶

第1部「因果分析と要因探索のための多変量解析法」 講師:立教大学 山口和範

10:05~10:55, 11:05~11:55, 13:00~13:50

統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。そこでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

第2部「解析例でみる統計的モデリングのプロセス」 講師:東京工業大学 野村俊一

14:10~15:00, 15:10~16:00, 16:10~17:00

統計的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータに基づいて、データが生み出される確率的構造を推測することである。本セミナーでは、主に保険のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

17:00~17:10 閉会挨拶・アンケート記入

備 考: このセミナーは、2015年度第1回ORセミナーおよび2016年度第1回ORセミナーと重複する内容があります。

参加費(テキスト代込み): 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円

ORセミナー参加者特典: 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

申込方法: メールタイトル「第4回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

申込締切: 2016年11月30日(水)

振込先: みずほ銀行根津支店(店番号235) 普通1530801

口座名: 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額): 日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(JSRPIM), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

2016年度年会費納入のお願い

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。この払込取扱票は2016年1月以降も使用可能ですので、未納の方はお支払いをお願いします。大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 カナ：シヤ）オペレーションズ リサーチガックイ
-------	--

郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズ リサーチ学会
--------	--

ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズ リサーチ学会
--------	---

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担をお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2016年1月20日に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきます。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

2016年3月で卒業の学生会員の方へ

1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ

新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）の会費はそのままです。2016年11月に2017年度（2017年3月～2018年2月末）正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) 退会希望の方へ

退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。